

# みんなの ひろば

雄武町国民健康保険病院副院長  
花田 裕之さん (幸町)

気軽に来ていただける病院を目指して



4月から雄武町国民健康保険病院で副院長として勤務する花田裕之さん(46歳)。雄武町出身。東京の昭和大学医学部を卒業後、平成4年4月、同大学医学部第2外科に入局し、平成15年3月まで同外科に勤務する。その後、関連病院や個人病院での勤務を経て、この度雄武町国民健康保険病院の副院長として勤務することになった。「地域の医師不足が医師を目指したきっかけです。大学に入ったころから技術などをひと通り習得

した時点で北海道に帰ろうと思っていた。そのときはまだ雄武町に帰ってこられるかというのわからなかったのですが、そんな折、田原町長と塚越院長にお声をかけていただきました。30年ぶりの雄武町は過疎が進んだ感じはしましたが、海や山など自然の雄大なところは変わらないと思いました。

花田医師は消化器全般の専門で経験も豊富。「関東の病院では、内視鏡検査や治療を年間600件、外科手術を80

件〜1000件ほどを毎年行い、1年のうち360日は病院にいたような感じです。休みの日でも一度病院に行くと患者さんの状態を確認し、何もなければそこから半日なり自分の時間はあるわけですが、連絡があればまたすぐ病院に戻るとい生活でした」とそのころを振り返る。

「実はまだ町民の皆さんにも消化器科がこの病院にあるということが伝わっていないようで、知らない方が多数だと思います。今後は常勤の自分がいることによって、具合が悪い人を速やかに検査ができる体制を築き、はるばる遠くの病院まで行かなくても必要な検査や診察を受けていただける足がかり的な存在になればと思っています。気軽に来ていただける病院と考えていただいて、体調のすぐれない時は早めに受診してもらいたいですね」そう話してく

## フレッシュトーク

### 常に笑顔でいられる保健師に

黒澤 奈未 さん  
役場保健福祉課勤務



昨年4月から役場保健福祉課保健係で保健師として勤務する黒澤奈未さん(23歳)。出身は旭川市。道立旭川高等学校看護学院看護学科を卒業後、保健師として雄武町に就職することになった。「学生時代に実習で患者さんと触れ合った時に、予防の面からサポートすることの重要性を学びました。また、その時に直接、雄武町の保健活動についてお話を聞く機会もあったので、海も山もある素敵な雄武町で働きたいと思いました。」

保健師は各種健診や個別に自宅を訪問し健康相談を行うなど、町民皆さんの健康を守ることが仕事である。

「仕事は大変ですがとても楽しいです。職場の先輩や町民の方からたくさんのお話を勉強させてもらいながら仕事ができる毎日が充実しています。何事にも見通しを立てて取り組み、常に笑顔でいられるような保健師になりたいです」そう話してくれた。

- ♡趣味 犬の散歩、ドライブ、音楽を聴きながらの茶碗洗い
- ♡休日の過ごし方 ドライヴに出かけたり、実家の愛犬と散歩を楽しんでいます。
- ♡好きな男性のタイプ 掃除とくも退治が得意な人

## 小さな美術館

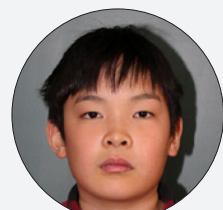
共栄小学校



中村駿介くん (5年)



↑習字「山」



木村智哉くん (5年)



↑習字「成」



辻 朱里さん (6年)



↑習字「詩」

## わんぱくキッズ

おおきくなったら  
～若草保育所～



郵便屋さん

コーカレド

看護師

なかがみ  
かりんちゃん

まつなが  
ゆうきくん

はぜやま  
しおりちゃん